

修学旅行に向けての平和学習

2月後半から道徳の授業では、修学旅行に向けての沖縄平和学習を始めています。1回目はDVD視聴、2回目は絵本『つるちゃん』、今日の3回目は戦時中の沖縄県知事であった島田勲さんについて学習しました。

DVDでは生々しい映像もあり、沖縄戦の悲惨さを感じる事ができたのではないかと思います。沖縄といえば明るく楽しいイメージを持っている人が多いと思いますが、修学旅行では、楽しむばかりではなく平和についてしっかり学ぶことも大きな目的です。

沖縄戦では多くの一般住民が巻き込まれ、学生や小さな子どもたちも命を落としました。絵本『つるちゃん』では、戦場を逃げまどうつるちゃんの家族の実話からその実態を学びました。

「もう二度とあんなに悲しい戦争を起こしてはならない」 平和学習の中でみんなが感じた思いを持ち続けてほしいです。

—【絵本「つるちゃん」の感想より】—

*「つるちゃん」という絵本を読んで、信じられないようなことが本当にあったんだと思い知らされました。7歳の小さな女の子が戦争に巻き込まれて、目の前で家族や親戚が亡くなっていくのを見ていたということが本当に悲しいことだと思います。どうしてこんな小さい子がこんな辛い思いをしないとイケないのだろうと思いました。つるちゃんの目の前であったことは、本当に信じがたい出来事だけれど、そういった時代があったということをお忘れず、もっと深く学んでいきたいです。

*どんどん周りの人がいなくなっていく淋しさや、爆弾が落ちてくる恐怖など、つるちゃんのようにたくさんの人々がこの戦争によって悲しくて辛い思いをしたんだなあと思いました。小さい体で逃げるために歩き続けたつるちゃんは、心も体もボロボロだったのだと思いました。それでも生き続けたつるちゃんはとても強いなと感じました。

*戦争では何も関係ない人がどんどん死んでいき、兵隊だけが死んだんじゃないことが分かりました。「つるちゃん」を読んで、戦争がどれだけ無意味だったのかが分かりました。戦争は二度と起こしてはイケないと思いました。

*あんなに小さい子どもが犠牲になるのは本当にかわいそうだと思います。何もしていない人々が次々と死んでいく…。なんでこんな争いをしたのか？とても不思議です。今は戦争を知らない人たちが増えてきました。戦争のことをたくさんの方が知り、二度と戦争をしてはイケないという考えをみんなが持ち、平和な世の中にしていかなければなりません。



また、総合学習では沖縄についての調べ学習をおこない、新聞作成をしています。1人が2テーマ（うち1つは戦争・平和について）を調べています。2泊3日の修学旅行をより充実したものにするために、しっかりと調べて、学習を深めましょう。